

令和元年度第1回 岐阜県圏域地域医療構想等調整会議 主な質問・意見

番号	圏域	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
1	西濃	議題4	既存の医療機関において、新規で診療科を開業する場合も外来医療計画のルールが適用されるのか。	医師偏在指標について診療科ごとの区別はない。医師全体の数で指標を策定している。どの診療科を開業するのではなく、どの地域で開業するかが問題。岐阜県では岐阜圏域のみが、外来医師多数区域になる見込み。岐阜圏域内で開業する方には診療科に限らず、届け出の際に、初期救急や、在宅医療等不足しているものを担ってもらうよう届け出の備考欄等に求めていく。岐阜圏域以外では、新規開業者に何かを求めるといことはしない方向でいる。
2	西濃	議題4	情報を提供するだけで、開業したい医師の開業を認めないという意味ではないか。	開業する方々に情報を提供するだけであり、開業をとめる権限は医療法等で国にも県にもない。憲法でも職業選択の自由があり、任意で求めているもの。
3	西濃		揖斐厚生病院、西美濃厚生病院についての議論はどうなっていくのか。決まっていないことがたくさんあると思うが今後の議論はどうなっていくのか。	2病院については、内々に議論を進めていると聞いている。再編統合については、地域医療構想に沿っているのであれば、地域医療介護総合確保基金の活用も検討している。調整会議では内容が固まった際に、病院関係者に説明をしていただき、西濃圏域の委員の皆様の意見を伺いたいと思っている。
4	西濃	議題4	急性期が余って、回復期が足りない状況が続く中、新規開業者の方々には、各医療圏の事情を十分把握していただき、協力的な姿勢でやっていただきたい。	
5	西濃		揖斐厚生病院、西美濃厚生病院の再編統合について、3、4年後には新病棟ができると聞いているので、病院の計画はできていると思うがどうか。	基本計画については、内々で決まっている。届け出をして正式に決まれば、この場で発表する予定。西濃圏域の地域医療構想に沿ったかたちで計画したため、回復期病床の設置等考慮している。
6	西濃		来年度、高度型の地域がん診療連携拠点病院としての申請を計画している。これに関して県との相談窓口も必要となるため、十分に検討して申請したい。がん治療は医療費が高いため、無駄を作ってはいけないと考える。がん治療の実績を踏まえれば、高度型のがん治療を担うのは必然的だが、それに伴い西濃圏域や他の圏域に多少の影響が出ると思われるので、今後の計画をお伝えする。放射線機器の購入を考えている。令和3年の1月1日に稼働できるように検討中。IMRTが現在1台であるが2台目を稼働させる予定。他の医療機関で導入予定があれば、医療機器の有効利用という観点で、検討をしていただきたい。	
7	西濃		西濃医療圏の病院ということで、関ヶ原町の藤井病院が閉院する。院長の娘が愛知県で医師をしているが、戻ってくる気配がなく、後継者がいないため。また、呼吸器の療養医療を行っていたが、経営的な面もあり、院長の年齢的な面もあり令和元年8月30日の閉院をもって手続きをすること。	

番号	圏域	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
8	西濃	アドバイザー 講評	<p>去年から参加しており、この調整会議はデータが何もなく、病床機能を分ける話し合いばかりで何をしているか分からないと思っていた。だが、今回は様々なデータが出てきた。これでやっと話し合いのたたき台ができたと思いき楽しみにしている。地域により医療状況は異なり、地域ごとの考え方が必要になる。医師偏在や外来機能は、行政の仕事だと思う。医療機器の購入について、各医療機関が独自の判断で購入してきたが、今回の資料で今後は今までもどおりではいけない事になる。地域の事情や場所によって異なると思うが、一番大事なのは、外来の機能を開業医の先生も病院の先生も何の診療科がどれくらい不足している等、より細かいデータが必要になる。10万人単位の資料では話し合いができない。話し合いができる下地をそれぞれの地域で考えないといけない。岐阜県医師会で地域医療構想についてのアンケートを実施した。医師会の先生方は、十分な考えになっていない。次の段階では、詳細のデータが出るはずなので各医療機関の先生は、話し合いができる下地を作っていただきたい。</p>	